

水道行政の推進について

健康局水道課

平成26年度水道関係予算（案）

公共事業関係予算（水道施設整備費）

（単位：百万円）

区 分	平成24年度 補正予算額 + 平成25年度 予 算 額 A	平成25年度 補正予算案 B	平成26年度 予 算 案 C	平成25年度 補正予算案 + 平成26年度 予 算 案 D = B + C	前 年 度 増△減額 E = D - A	対前年 度比率 (%) F = D / A
水道施設整備費	(30,049) 73,294	46,091	40,730	86,821	13,527	118.5
簡易水道	(12,383) 24,451	13,612	13,853	27,465	3,014	112.3
上水道	(17,666) 39,892	32,077	11,513	43,590	3,698	109.3
指導監督事務費	57	0	57	57	0	100.0
補助率差額	10	0	1	1	△9	10.0
調査費等	32	0	33	33	1	103.1
災害復旧費	350	402	350	752	402	214.9
東日本大震災	8,502	0	14,923	14,923	6,421	175.5
災害復旧費・東日本大震災を除いた場合	(30,049) 64,442	45,689	25,457	71,146	6,704	110.4
水道施設整備費						

注1) 厚生労働省、内閣府（沖縄）、国土交通省（北海道、離島・奄美、水資源機構）、復興庁計上分の総計

注2) 上段（ ）は平成24年度補正予算額の再掲

新水道ビジョンの推進

水道ビジョン（平成16年6月策定・平成20年改訂）

【基本理念】世界のトップランナーを目指してチャレンジし続ける水道

■水道の事業環境の変化

枚挙にいとまがない課題

- ・給水人口・給水量、料金収入の減少
- ・東日本大震災を踏まえた危機管理対策
- ・水道施設の更新需要の増大
- ・水道水源の水質リスクの増大
- ・職員数の減少によるサービスレベルの影響

関係者が共有すべき理念

・これまでの130年間に先達が築き上げてきた地域の需要者との信頼に基礎を置き、地に足のついた対応を図る。

世界のトップランナーのバトンを未来へつなぎ、水道を次の世代に継承

新水道ビジョン

（平成25年3月策定）

【基本理念】地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道

持続

安全

強靱

挑戦

連携

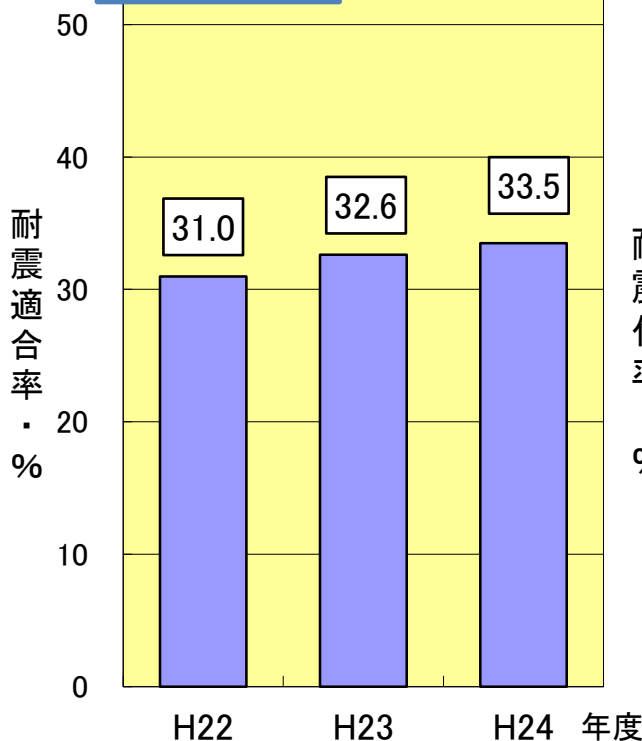
平成25年度の主な取組
（厚生労働省）

- 新水道ビジョン推進協議会
- 新水道ビジョン推進のための地域懇談会

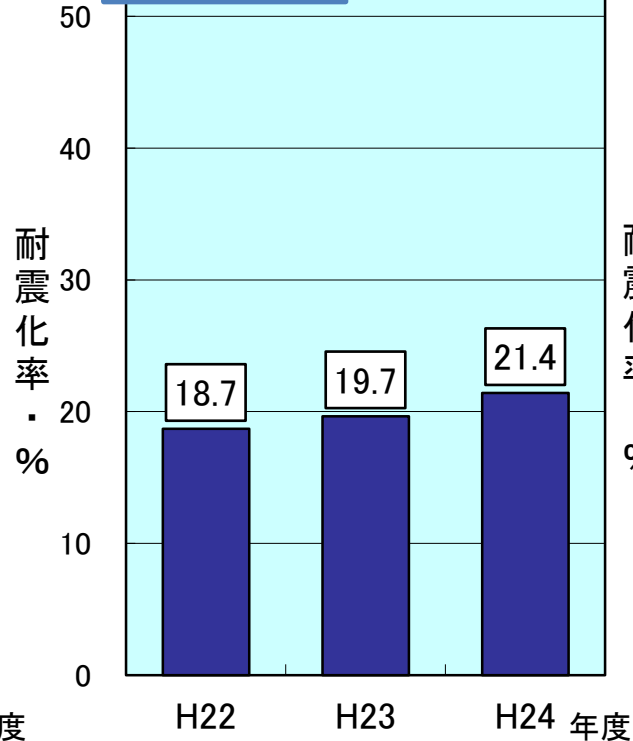
水道事業における耐震化の状況（平成24年度）

- 老朽化施設の更新が進まないため、耐震化率・耐震適合率も上がらない。
→耐震化が進まない
- それぞれの水道事業者の事情（財政問題、人員不足等）があり、水道事業者別で見た場合に、耐震化の進捗に大きな開きが生じつつある。

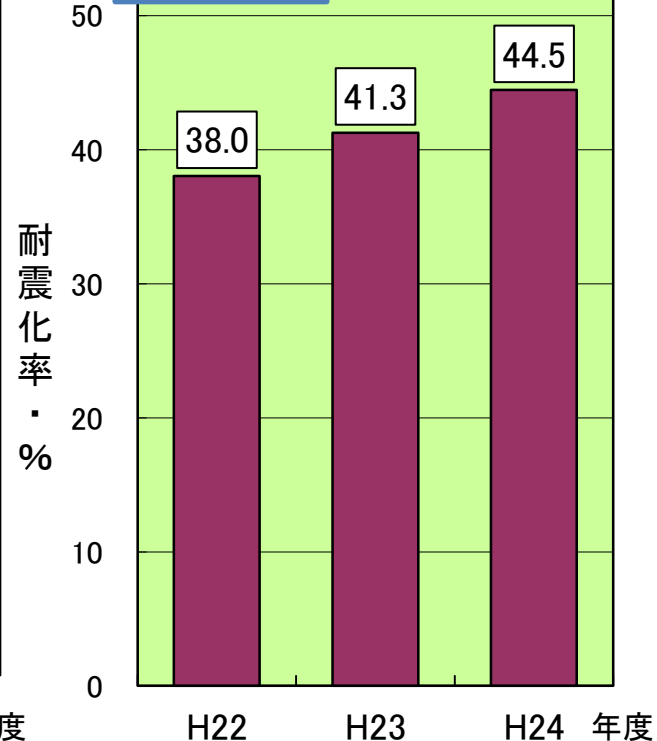
基幹管路



浄水施設



配水池



(※)耐震適合率＝(耐震適合性のある基幹管路の延長)／(基幹管路の総延長)

地震時でも継ぎ目の接合部分が離脱しない構造の耐震管に加え、耐震管以外でも管路が布設された地盤性状を勘案すれば耐震性があると評価できる管を含めて「耐震適合性のある管」としている。

健康局 施策照会先一覧（厚生労働省代表電話 03-5253-1111）

施策事項(資料ページ)	所管課室	担当係	担当者	内線
原爆被爆者対策について	総務課	総務係	阿部	2312
疾病対策について	疾病対策課	総務係	竹内	2352
移植対策について	移植医療対策推進室	臓器移植係	保田	2365
肝炎対策について	肝炎対策推進室	肝炎対策指導係	中田	2948
感染症対策について	結核感染症課	総務係	斎藤	2372
がん対策・健康増進施策について	がん対策・健康増進課	総務係	香川	2342
生活衛生対策について	生活衛生課	総務係	田中	2436
水道行政の推進について	水道課	総務係	原渕	4025